

昭和二十四年一月—三月

日本銀行勘定による日本銀行券増減原因分析

一、一月中
 (1) 一月中に於ける日本銀行勘定の増減を見るに次の通りである。

資産		負債	
(単位 百万円)		(単位 百万円)	
政府貸上金	(+) 六四二	日本銀行券	(-) 一三、七〇五
貸出金	(+) 九、一九〇	政府預金	(-) 一、七二六
国債其他証券	(-) 一七、四四五	其他預金	(+) 三〇〇
内訳		其他	(-) 九一九
政府関係	(-) 一三、三四四		
民間関係	(+) 五、八九九		
代理店勘定	(-) 八二九		
其他	(-) 七、五九八		
計	(-) 一六、〇四〇	計	(-) 一六、〇四〇

(2) 昨年一、二月の減少を除き連月増加を示していた日本銀行券は今月に入り収縮に転じたが、右によれば政府との取引に於ては百九十七億九千九百万円と大幅の収縮を示したのに反し、民間との取引に於ては六十億九千四百万円の膨脹を見たこととなる。

◎対政府関係 (算定の基礎) (単位 百万円)

(資産)		(負債)	
政府貸上金	(+) 六四二	政府預金	(-) 一、七二六
国債其他証券	(-) 一三、三四四	其他	(-) 一、七二八
大蔵省証券	(-) 二一、九九四		
食糧証券	(+) 三、一五〇		
復興金融債券	(-) 四、五〇〇		
代理店勘定	(-) 四		
其他	(-) 五三七		
		引受還	五三、四一〇
		債金部へ売却超	四四、一一〇
		預金部へ売却	六、一五〇

◎対民間関係 (算定の基礎) (単位 百万円)

(資産)		(負債)	
貸出金	(+) 九、一九〇	復興金融債券	(+) 一四、三〇一
国債其他証券	(+) 五、八九九	食糧証券	(-) 八、一一五
大蔵省証券	(-) 一三、三〇〇		
代理店勘定	(-) 八二五		
其他	(-) 七、〇六一		
其他預金	(+) 三〇〇		
其他	(+) 八〇九		
		市中より買入	二一六
		市中へ売却	三五
		市中より買入	七、二六六
		市中へ売却	一、一〇〇
		市中より買入	九、七六八
		市中へ売却	一、八八二
		市中より買入	一、六四二
		市中へ売却	四、七七三

(3) 然し乍ら右の対政府関係に含まれている預金部の収支中、郵便貯金地方公共団体貸付金等民間関係と見なされるものゝ収支は、郵便貯金の増加を主因として八十二億一千九百万円の収入超過を示しているから、之を民間関係より差引き政府関係に加える。次に農林中央金庫に於ける食糧及び薪炭代金前受金勘定は月中百八十億四千八百万円の減少を示したため、本行は同金庫に対し月中八十四億四千六百万円の資金供給を行っているが、之は食糧及び薪炭買入のため

政府に代わり立替払をしたものと考えられるを以て、民間関係より政府関係に移す。更に本月発行の復興五分利国庫証券四十六億円中日本銀行よりの借入金、同行に対する国債その他証券の売却等同行より供給された資金を以て消化したと見られるもの三十三億七千二百万円は、政府に対する信用創造と見なし民間関係より政府関係に移す。かくて対政府関係に基く流出額は二億三千八百万円となるのに対し対民間関係に於ては却つて百三十九億四千三百万円の収縮を示したことになるが、かく日本銀行券が収縮したのは主として政府資金が二百十八億円の引揚超過をみるに至つたことに基くものである。然し乍らその少なからざる部分が日本銀行の民間に対する信用創造を通じて行われていることは注意されなければならない。

二、二 月 中

(1) 二月中に於ける日本銀行勘定の増減を見るに次の通りである。

資 産		負 債	
政府貸上金	(-) 三、三三〇	日本銀行券	(-) 一九、一六六
貸 出 金	(+) 一、四一八	政 府 預 金	(+) 一三、八一〇
国債其他証券	(-) 一八、三七八	其 他 預 金	(-) 一、四〇五
内訳	(-) 二五、六九二	其 他	(+) 二七五
〔政府関係	(+) 七、三一四		
〔民間関係	(-) 一八、三七八		
代理店勘定	(+) 一、七六六		
其 他	(+) 二、〇七八		
計	(-) 六、四四六	計	(-) 六、四四六

(2) 右によれば前月に引続き政府との取引に於ては四百二十五億五千万円の収縮を示したのに反し、民間との取引に於ては二百三十四億二千四百万円の増加を見たこととなる。

◎対政府関係 (単位 百万円)

(算定の基礎)	(-) 四二、五五〇
(資 産)	
政府貸上金	(-) 三、三三〇
国債其他証券	(-) 二五、六九二

日本銀行券増減原因分析 昭和二十四年一月—三月

◎対民間関係 (算定の基礎)

(+) 二二、四二四

(単位 百万円)

資 産		負 債	
大藏省証券	(-) 三、〇八九	復興金融債券	(+) 一三、九六八
食糧証券	(+) 一、三二四	薪炭証券	(+) 二、〇一〇
代理店勘定	(-) 一三四	復興金融債券	(-) 五、三三〇
其 他	(-) 一三四	代理店勘定	(-) 三
政府預金	(+) 一三、八一〇	其 他	(-) 一三四
其 他	(-) 四一九	政府預金	(+) 一三、八一〇
計	(+) 二二、四二四	其 他	(-) 四一九

資 産		負 債	
大藏省証券	(+) 一、三二四	復興金融債券	(+) 一三、九六八
食糧証券	(-) 六、六六八	薪炭証券	(+) 二、〇一〇
国債其他証券	(+) 七、三二四	復興金融債券	(-) 五、三三〇
大藏省証券	(+) 一、三二四	代理店勘定	(-) 三
其 他	(+) 一、三二四	其 他	(-) 一三四
計	(+) 二二、四二四	政府預金	(+) 一三、八一〇

資 産		負 債	
大藏省証券	(-) 三、〇八九	復興金融債券	(+) 一三、九六八
食糧証券	(+) 一、三二四	薪炭証券	(+) 二、〇一〇
代理店勘定	(-) 一三四	復興金融債券	(-) 五、三三〇
其 他	(-) 一三四	代理店勘定	(-) 三
政府預金	(+) 一三、八一〇	其 他	(-) 一三四
其 他	(-) 四一九	政府預金	(+) 一三、八一〇
計	(+) 二二、四二四	其 他	(-) 四一九

資 産		負 債	
大藏省証券	(-) 三、〇八九	復興金融債券	(+) 一三、九六八
食糧証券	(+) 一、三二四	薪炭証券	(+) 二、〇一〇
代理店勘定	(-) 一三四	復興金融債券	(-) 五、三三〇
其 他	(-) 一三四	代理店勘定	(-) 三
政府預金	(+) 一三、八一〇	其 他	(-) 一三四
其 他	(-) 四一九	政府預金	(+) 一三、八一〇
計	(+) 二二、四二四	其 他	(-) 四一九

其 他 (+) 六九四

(3) 然し乍ら右の対政府関係に含まれている預金部の収支中、郵便貯金、地方公共団体貸付金等民間関係と見なされるもの、収支を見ると、郵便貯金が増加したため四十五億九百万円の収入超過を示しているから、之を民間関係より差引き政府関係に加える。次に日本銀行は農林中央金庫に対し月中四十八億六千五百万円の資金供給を行っているが、右の内二十五億二千一百万円は食糧及び薪炭買入のため政府に代わり立替払をしたものと考えられるを以て、此の額を民間関係より政府関係に移す。更に本月発行の復興五分利国庫証券十二億円中日本銀行よりの借入金、その他同行より供給された資金を以て消化したと見られるもの九億六百万円は政府に対する信用創造とみなし、民間関係より控除し政府関係に加える。かくて対政府関係に基づく収縮額は三百四十六億一千四百万円に上るのに対し、対民間関係に於ては百五十四億八千八百万円の膨脹を示したこととなるが、かく対政府関係に於て巨額の収縮を見るに至つたのは五百四十九億円に上る租税収入を中心として政府資金が四百二十九億円の引揚超過を見たことによるものであり、又対民間関係の膨脹は右の如き徴税強化により加重された一般市中の資金逼迫に対し日本銀行が必要資金の供給を行ったことを示すものと云えよう。

三、三月中

(1) 三月中に於ける日本銀行勘定の増減を見るに次の通りである。

資 産		負 債	
(単位 百万円)		(単位 百万円)	
政府貸上金	(-) 四、四一七	日本銀行券	(-) 九、九〇一
貸 出 金	(-) 四、五六五	政 府 預 金	(+) 二二、二五一
国債其他証券	(-) 四、五九二	其 他 預 金	(+) 一、五一六
内訳		其 他	(+) 九、七九三
政府関係	(-) 一四、〇三八		
民間関係	(+) 九、四四六		
代理店勘定	(+) 七四		
其他	(+) 三七、一五九		
計	(+) 二二、六五九	計	(+) 二二、六五九

(2) 右によれば政府との取引に於ては四百五十九億一千一百万円の収縮を示したのに反し、民間との取引に於いて三百六十億一千万円の増加を見たこととなる。

◎対政府関係 (単位 百万円)

(算定の基礎)

政府貸上金	(-) 四、四一七
国債其他証券	(-) 一四、〇三八
計	(-) 一八、五〇五

(資 産)

国 債

食糧証券

薪炭証券

代理店勘定

其 他

(負 債)

政 府 預 金

其 他

計

◎対民間関係 (単位 百万円)

(算定の基礎)

政府貸上金	(-) 四、四一七
国債其他証券	(-) 一四、〇三八
計	(-) 一八、五〇五

(資 産)

国 債

食糧証券

薪炭証券

代理店勘定

其 他

(単位 百万円)

(-) 四、四一七

(-) 一四、〇三八

(-) 一八、五〇五

(-) 三、四三一

(+) 二二、二五一

(+) 八、六二九

(+) 三六、〇一〇

(-) 一、二九〇

(-) 一、二九〇

(-) 一、二九〇

(-) 一、二九〇

(-) 一、二九〇

(-) 一、二九〇

(-) 一、二九〇

(-) 一、二九〇

(-) 一、二九〇

(-) 一、二九〇

(-) 一、二九〇

(-) 一、二九〇

(-) 一、二九〇

(-) 一、二九〇

(-) 一、二九〇

(-) 一、二九〇

(-) 一、二九〇

(-) 一、二九〇

食糧証券

(-) 一二、三二七

農林中央金庫へ
売却超

九、〇三一

復興金融債券

(+) 二一、七六一

農林中央金庫よ
り買入超

八、三〇〇

代理店勘定

(+) 八一

其他預金

(+) 一、五一六

其他

(+) 一、一六四

(3) 然し乍ら右の対政府関係に含まれている預金部の収支中、郵便貯金、地方公
共団体貸付金等民間関係と見なされるもの、収支を見ると、郵便貯金の増加三
十億円、復興金融債券の償還五十四億円等があつたため五十八億八千五百万円
の収入超過を示しているから、之を民間関係より差引き政府関係に加える。次
に日本銀行は農林中央金庫に対し、月中百四十二億九千七百万円の資金供給(内
政府指定預金百五十億円)を行つたが、右の内百十八億三千九百万円は食糧及
び薪炭買入のため政府に代わり立替払をしたものと考えられるを以て、此の額
を民間関係より政府関係に移す。更に本月発行の復興五分利国庫証券十二億円
を日本銀行よりの借入金、政府指定預金の受入、同行に対する国債その他証券
の売却等、同行より供給された資金を以て消化したと見られるもの八億二千四
百万円は政府に対する信用供与と見なし、民間関係より政府関係に移す。かく
て対政府関係に基く収縮額は二百七十三億六千三百万円となるに反し、対民間
関係に於ては百七十四億六千二百万円の膨脹を示したこととなる。尚資産勘定
に於て其他勘定が三百七十一億円の激増を示すに至つたのは主として政府指定
預金により三百十六億円に上る預け金勘定が生じたためであり、之により貸出
金は四十五億円の減少を見た。(黒崎)

昭和二十四年四月—六月

日本銀行勘定による日本銀行券増減原因分析

(1) 四月中に於ける日本銀行勘定の増減を見るに次の通りである。

一、四月中		(単位 百万円)	
資産	負債	増	減
政府貸上金	日本銀行券	(+) 一五、〇〇〇	(+) 三、三八五
貸出金	政府預金	(+) 六、八六八	(-) 二、九一五
国債其他証券	其他預金	(-) 一〇、三八二	(+) 二、一三九
内訳	其他	(-) 四、九二二	(-) 一、三六九
政府関係		五、四六〇	
民間関係		八二	
代理店勘定		(+) 一〇、三二八	
其他		(-) 一、二四〇	
計		(+) 一、二四〇	

(2) 本年一月以降毎月収縮を示していた日本銀行券は本月に入り漸く三、三八五
百万円を増加したが、右によれば政府との取引に於ては一二、八九三百万円の
膨脹をみたのに反し、民間との取引に於ては九、五〇八百万円の収縮を示した
こととなる。

◎対政府関係

(+) 一二、八九三

(単位 百万円)

(算定の基礎)		(資産)	
政府貸上金	国債其他証券	食糧証券	其他
(+) 一五、〇〇〇	(-) 四、九二二		(-) 一、八五六
			(-) 二、九一五
			(-) 一、八五六
			(-) 二、九一五

償引
預金部へ売却超
受八九、七〇〇
還四七、八二二
四六、八〇〇